


微研集談会 発表者の方へ

抄録



- 集談会 **3週間前の金曜日**までに推進室に提出してください。
- 様式は以下からダウンロード可能です。
<http://www.biken.osaka-u.ac.jp/suishin/shudankai/abstract.doc> 
- A4サイズ 1枚以内としてください。
- 本文は英文とし、氏名は日英併記してください。
- 学生や若手の研究者が背景を理解するために、参考になるような Review あるいは論文などを Reference として挙げてください

例) [Hoshino A. and Fujii H. Insertional chromatin immunoprecipitation J. Biosci. Bioeng. 2009, 108:446-449.](#)
参考文献名を記載し、PDF ファイルへハイパーリンクを貼ってください。



所内専用ページへのアップロードについて

2011年2月から、演者の抄録を推進室 Web の所内専用ページにアップすることとなりました。閲覧できるのは、微研所内専用ページにアクセスできる方々のみで、一般に公開されることはありません。アップロードに差し支えがありましたら、提出の際にお申しつけください。(従来どおり、抄録の PDF ファイルは freetalk へもメール配信いたします。)

発表スライドについて



- “英語で” 作成してください。
 - スクリーンに投影時、スライドの端がわずかに切れてしまう可能性があるため、スライドの内容はオブジェクト等も含めできるだけページの中央に作成してください。
 - 発表時にスライドの図や写真が表示されないことがまれにあるため、図や写真は他ファイルからのコピー&ペーストではなく、メニューの「挿入」から読み込んで配置してください。
 - 動画データをご使用の際は、参照ファイルを総て同じフォルダに入れて下さい。
- ※PC の機種や何かの不具合によって「発表者ツール」が使えないケースもありますので、念のため使えない場合にも備えて準備をしてください。

発表について



- 時間配分は、発表 25分・討論 5分です。討論時間は特に制限を設けません。
- 他の分野の人が初めて聞いても理解しやすいよう、簡単にバックグラウンドを説明して下さい。



BACK UP



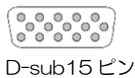
- パソコン持ち込み方式です。
- 万一の不具合に備えて、バックアップデータを USB 等に保存し、バックアップパソコンをお持ちになることをおすすめします。

⇒ 当日のパソコン試写等については次ページにつづきます

当日の試写



- 1人目の方は開始40分前に、2人目の方は20分前に、パソコンをご持参の上、会場にて試写してください。
(プロジェクタの投影がエラーになることがあるため、必ず事前にシミュレーションが必要です。演者が替わるごとにPCやケーブルの差し直しが必要です。)
- 必ず電源アダプターをお持ちください。
- 発表中にスクリーンセーバーや省電力モードにならないよう設定してください。
- 画面の解像度は1024×768(XGA)、リフレッシュレートは60Hzとしてください。
- 動作が不安定な(フリーズする)パソコンや、バッテリーが切れやすいパソコン、ファイルサイズが大きくパソコンの動作に支障が出るデータの使用は避けてください。
- 会場の液晶プロジェクタとお持込みのパソコンとの接続はD-sub15ピンです。

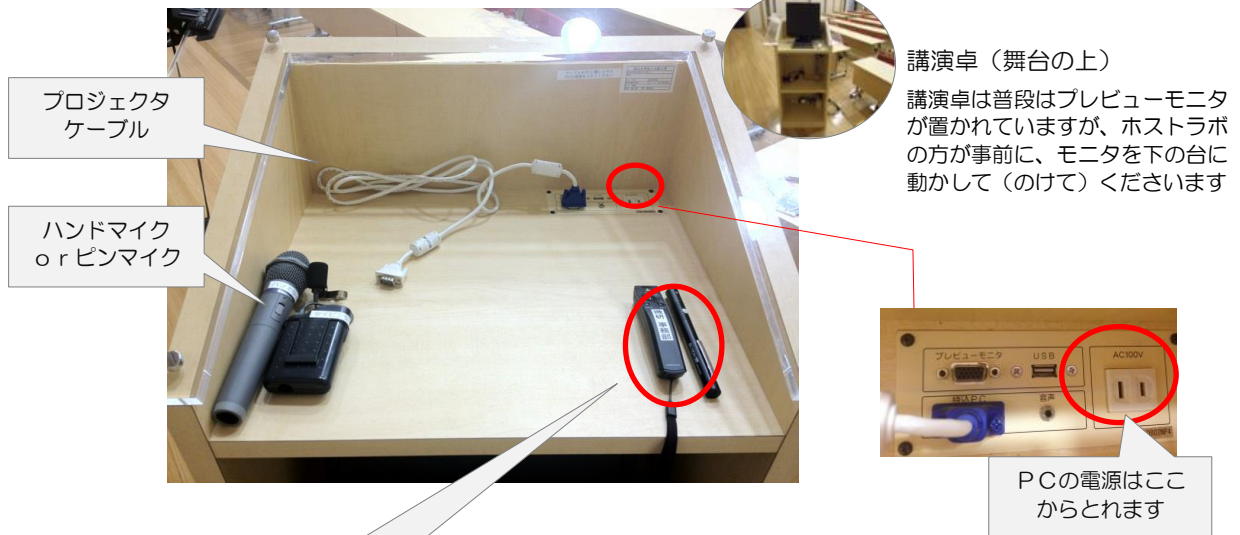


D-sub15ピン

Macなど、一部ノートパソコンでは付属のコネクタが必要な場合がありますので、ご用意下さい。

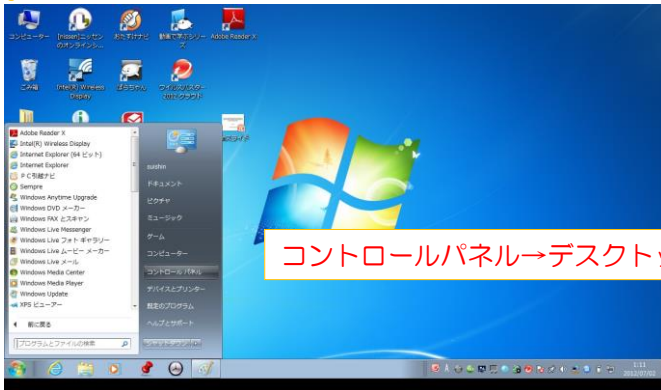
PCのセッティング

パソコンは講演卓(舞台の上の机)に置いてください。
卓上では、以下の用意がされています。

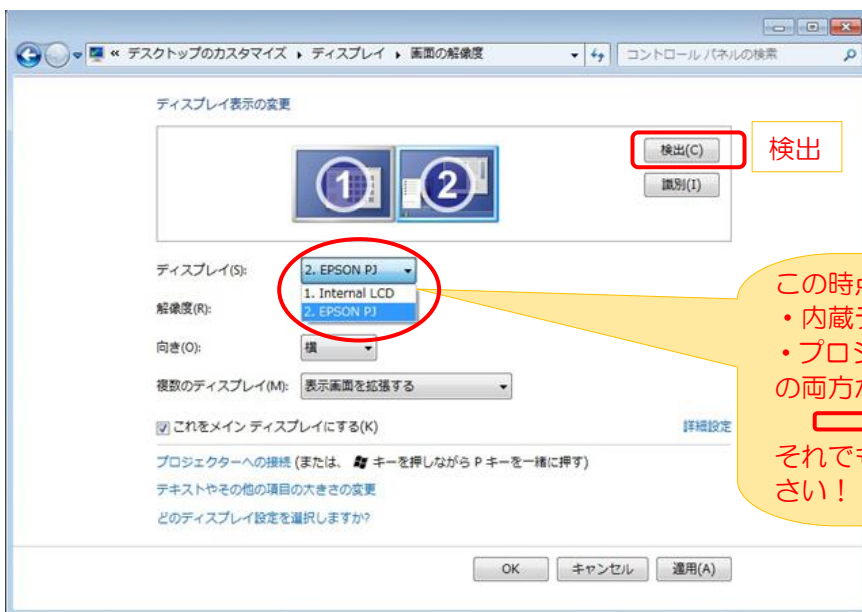


Q&A Windows 編

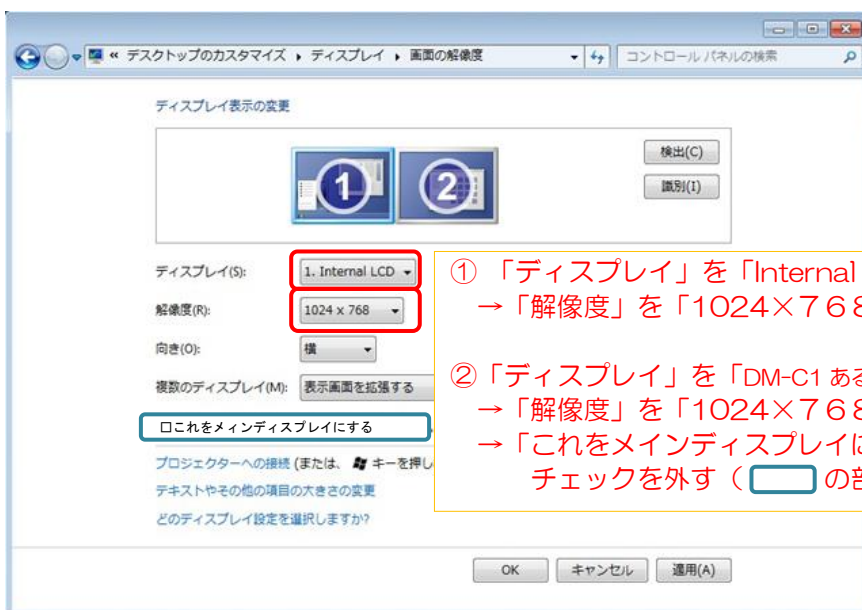
「スクリーンに画像が写らない！」→解像度はありますか？以下を確認してください。



コントロールパネル→デスクトップのカスタマイズ→ディスプレイ→画面の解像度



この時点で、
・内蔵ディスプレイ (Internal LCD)
・プロジェクタ (DM-C1 あるいは PT-D12000)
の両方が認識されていない場合は
□の「検出」を押してください。
それでも表示されなければ、再起動してください！



①内蔵ディスプレイと②プロジェクタ、両方の解像度を合わせる必要があります。

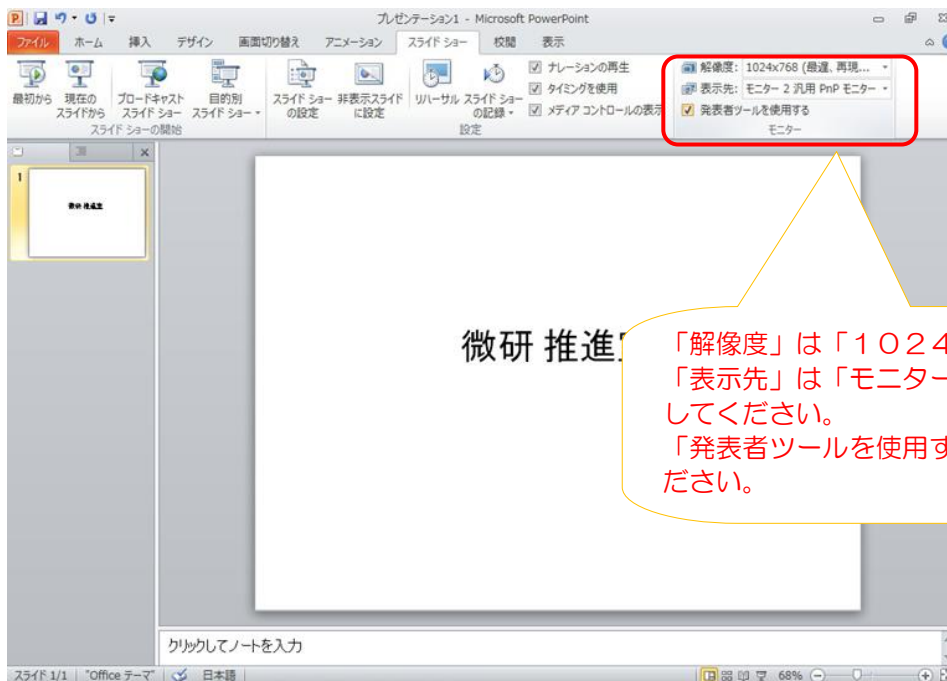
- ① 「ディスプレイ」を「Internal LCD (=内蔵ディスプレイ)」に
→ 「解像度」を「1024×768」にする
- ② 「ディスプレイ」を「DM-C1 あるいは PT-D12000 (=プロジェクタ)」に
→ 「解像度」を「1024×768」にする
→ 「これをメインディスプレイにする」にチェックが入っていたら、
チェックを外す (□の部分)



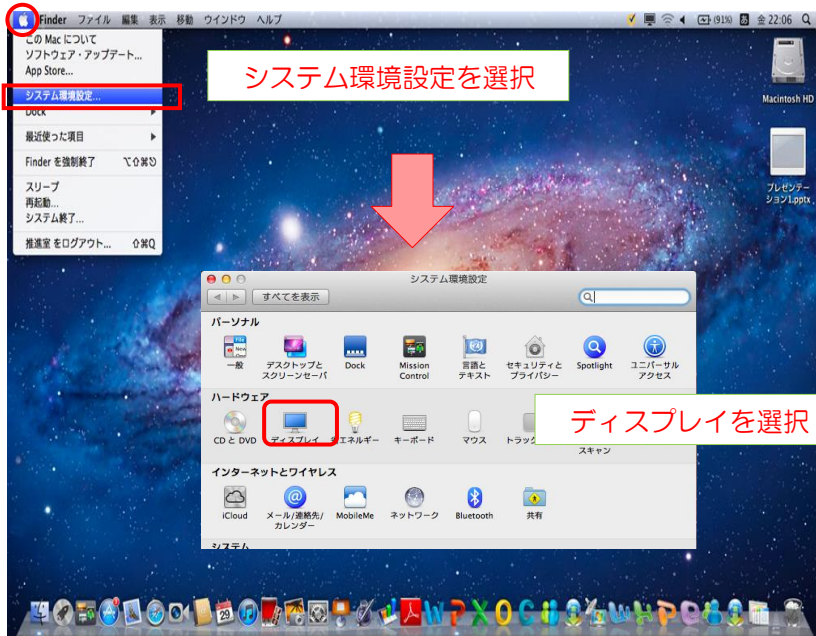
「発表者ツールを使いたい！」→画面を“拡張”してください。



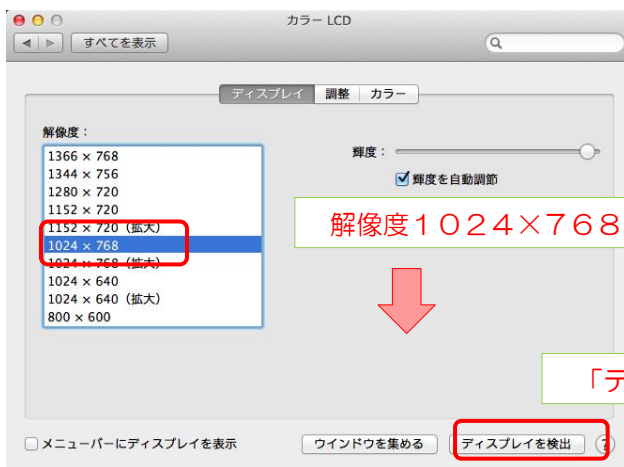
PowerPoint の設定（2010の場合）



「スクリーンに画像が写らない！」→解像度はありますか？以下を確認してください。

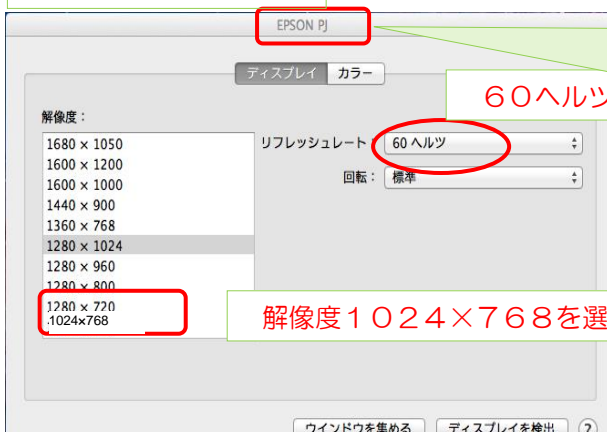


① 本体ディスプレイの設定



①内蔵ディスプレイと②プロジェクタ、両方の解像度を合わせる必要があります。

② プロジェクタの設定



谷口講堂のプロジェクタ名 DM-C1 あるいは PT-D12000 が表示されていない場合は、プロジェクタが認識されていないので、再起動してください！

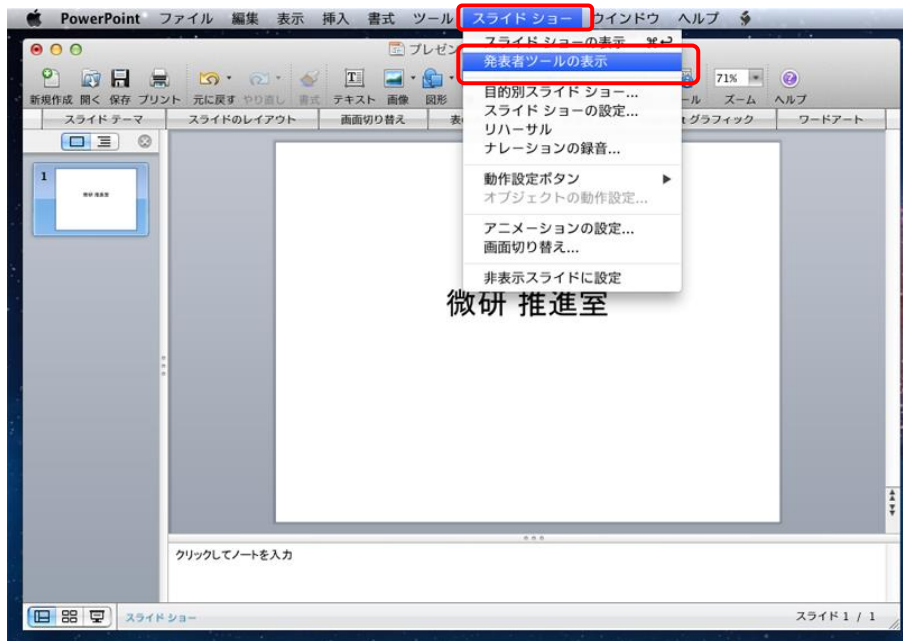


「発表者ツールを使いたい！」→画面を“拡張”してください。

本体ディスプレイの設定



PowerPoint 2008 Mac の設定

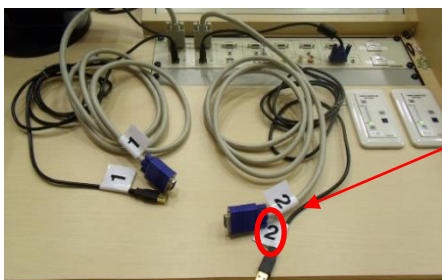


「スライドショー」



「発表者ツールの表示」

<PC を AV デッキに置く場合>



最初に発表する方は 1 番に、2 番目に発表する方は 2 番につないでください。USB もケーブルも両方！！

当日、番号を書いたこの紙はありませんが、左側が 1 番、右側が 2 番です。

<拡大図>



最初に発表する方→1 番に接続

2 番目に発表する方→2 番に接続

講演卓の様子

スライド操作にはキーボードもマウスも使えます

ハンドマイク



講演卓モニタ
(スクリーンと同じ画面しか映りません。発表者モードは使えません)

マウス

レーザーポインタ

キーボード



USB ハブに
マウス
キーボード
ポインタ USB
を接続